

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 新型コロナウイルス 感染者が急激に増加傾向

新年あけましておめでとうございます。今年是比较的穏やかなお正月で、皆さんも久々にご家族が集まっているのんびり過ごされたのではないのでしょうか。

全国的にも帰省による人の流れが多くなりました。このためか、正月明けから新型コロナウイルスの感染者が再び増加しています。特にo株による感染が急速に広がってきています。

鳥取県も、50日以上も感染者ゼロが続いていたのですが、正月明け早々に感染者が出ています。関東や関西の都市部だけでなく、沖縄、中国地方では広島や山

口でも多くの感染者が出ています（1月5日現在）。

### オミクロン株の 特徴・ワクチンの効果は

そこで、今回はo株について今までにわかっていることをお話ししたいと思います。o株は南アフリカで2021年11月に発生した変異株で、感染力がデルタ株の3倍から4倍と強く、欧米ではたった2か月で急速に拡散しています。

一方、病原性は従来株に比べて弱いと考えられており、入院や重症化、死亡のリスクは少ないことが報告されています。しかし、これはまだ確定的なことではなく、入院や重症化、死亡が少ないのは多くの人々がワクチンを打っているためかもしれません。あるいはo株は鼻咽頭での増殖力が強く、肺に到達するウイルスが少ないことが重症化しない理由かもしれません。

例えば、感染力が3倍とすると、重症化率が3分の1になっても実際に重症化する実人数は変わらないことになり、高リスクの患者さんでより重症化率が高く

なります。それではワクチンの効果はどうでしょうか。

日野町では90%以上の住民がファイザーのワクチンを接種しています。2回接種の2週間後では発症予防効果は70%ですが、5か月を超えると10%に下がるとの報告があり、3回目のワクチンを接種すると2週間後に再び予防効果は70%に戻ります。

しかし、重症化予防効果は2回接種の6ヶ月後でも50%から70%です。さらに、3回目の接種で90%近くまで上昇します。したがって、高リスクの人はできるだけ早く3回目の接種をすることを勧めます。

### さまざまなコロナ治療法 日常の感染予防もしっかりと

また、最近新しい治療薬が出てきており、今後の治療薬によって入院や重症化を予防できることが期待されています。新型コロナウイルスに対する治療の原則は、軽症の患者さんに対しては抗ウイルス剤を投与し、中等症以上の患者さんに対しては免疫抑制剤を投与します。抗ウイルス剤

として新型コロナウイルスに対する抗体を用いたカクテル療法や内服薬も承認されました。

しかし、これらの抗ウイルス薬は感染したすべての患者さんに投与するのではなく、重症化の高リスク患者さんに対してのみ初期段階で投与を行います。また、中等症以上の患者さんでは、ウイルスによって生み出された免疫が暴走状態となり自分自身を攻撃しているため、免疫を抑えるステロイド剤が用いられます。

昨今の今ごろとは異なり、我々はウイルスに対するさまざまな武器を手に入れています。日常の感染予防、ワクチン接種、新しい治療薬、これらを駆使しながら新型コロナウイルスの感染を早急に収束させていきたいものです。

